

### 病態分子イメージングセンターに係る業績

講座等名	モデル動物部門	事業推進者名	李 成一
<p>&lt;雑誌論文&gt; (著者名・論文標題・雑誌名・レフェリー有無・巻・ページ・発行年)                      該当なし</p> <p>&lt;図書&gt; (著者名・出版社・書名・発行年・総ページ数)                      該当なし</p> <p>&lt;学会発表&gt; (発表者名・発表標題・学会名・開催地(海外の場合は匡名と都市名)・発表年月)</p> <p>田中正和、福原貴太郎、竹野内徳博、任翊华、姚錦春、<u>李成一</u>、植田祥啓、木梨達雄、藤澤順一；                      HTLV-1 感染ヒト化マウスを用いた感染予防ワクチンにおける組織病理学的検討。第4回日本 HTLV-1                      学会学術集会。2017年8月18日～20日(大阪)</p> <p>小木曾力、折杉卓哉、東里香、小橋朱里、<u>西村愛美</u>、野田義博、中川隆生、小笠原里奈、鷺津朱理、細井                      美彦、松本和也、安齋政幸。β-NMN 添加修正 TaM 培地<sup>が</sup>体外成熟由来卵子の遺伝子発現に与える影                      響。第64回日本実験動物学会総会。福島県郡山市。2017年5月25-27日</p> <p>小笠原里奈、小橋朱里、東里香、<u>西村愛美</u>、野田義博、中川隆生、小木曾力、鷺津朱理、細井美彦、松本                      和也、安齋政幸。L-carnitine 添加 mTaM 培地<sup>が</sup>マウス体外成熟由来卵子における Cpt2 遺伝子に与える                      影響。第64回日本実験動物学会総会。福島県郡山市。2017年5月25-27日</p> <p>Masayuki Anzai, Rika Azuma, <u>Manami Nishimura</u>, Yoshihiro Noda, Akari Obashi, Rina Ogasawara, Akari                      Washizu, Chikara Kogiso and Yoshihiko Hosoi. Effect of in vitro maturation medium containing L-carnitine on                      gene expression during in vitro maturation of mouse embryos. The Forth World Congress of Reproductive                      Biology. 沖縄県宜野湾市。2017年09月27-29日</p> <p>安齋 政幸、<u>西村 愛美</u>、小木曾 力、東 里香、小笠原 里奈、鷺津 朱理、野田 義博、中川 隆生、細                      井 美彦。マウス体外成熟培地へのL-カルニチン添加<sup>が</sup>卵子細胞質内脂質代謝酵素遺伝子群に及ぼす影                      響。第51回日本実験動物技術者協会総会。山形県山形市。2017年10月12-14日</p> <p>小木曾力、<u>西村愛美</u>、東里香、中川隆生、小笠原里奈、鷺津朱理、松本淳希、森脇奈央、安齋政幸。                      体外成熟培養中のL-Carnitine は胚発生時の脂肪酸代謝関連遺伝子を安定化させる。第40回日本分子                      生物学会年会。兵庫県神戸市。2017年12月6-9日。</p> <p>小笠原里奈、東里香、<u>西村愛美</u>、中川隆生、小木曾力、鷺津朱理、松本淳希、森脇奈央、安齋政幸。マウ                      ス初期二次卵胞を用いた新たな体外発育操作と代謝酵素遺伝子の活性化の検討。第40回日本分子生物                      学会年会。兵庫県神戸市。2017年12月6-9日。</p> <p>上野孝治、ジョセフアンシー、松永智子、大高時文、任翊华、姚錦春、<u>李成一</u>、梁明秀、藤澤順一；                      HTLV-1 感染ヒト化マウスへの抗 PD-1 抗体投与による感染細胞の増殖抑制。第5回日本 HTLV-1 学会                      学術集会。2018年8月31日～9月2日(東京)</p> <p>Tokifumi Odaka, Yiha Rin, Jinchun Yao, <u>Sung-il Lee</u> and Jun-ichi Fujisawa. Alternate expression of Tax and                      HBZ genes in the course of HTLV-1 infection in humanized mouse. 第66回日本ウイルス学会学術集会。                      2018年10月28日～30日(京都)</p> <p><u>西村愛美</u>、小木曾力、東里香、中川隆生、安齋政幸。体外成熟培養中のL-carnitine が胚発生時の脂肪                      酸代謝遺伝子の活性を促進する。第65回日本実験動物学会総会。富山県富山市。2018年5月16日</p> <p>森脇奈央、<u>西村愛美</u>、東里香、松本淳希、中川隆生、細井美彦、安齋政幸；脱イオン化 AlubMAX 添加                      培地<sup>が</sup>マウス体外成熟由来卵子への胚発生に与える効果。第65回日本実験動物学会総会。富山県富山                      市。2018年5月16日</p> <p>安齋政幸、<u>西村愛美</u>、東里香、中川隆生、松本和也。マトリゲル包埋による成熟マウス由来初期二次卵                      胞を用いた体外発育操作と評価。第52回日本実験動物技術者協会総会。熊本県熊本市。2018年10月4                      日</p> <p>&lt;特許申請・取得状況&gt;                      該当なし</p>			